



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年6月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライステージ

コード番号 2178 URL <http://www.tri-stage.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 丸田 昭雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 野口 卓 TEL 03-5402-4111

四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	8,830	10.9	221	137.9	221	115.5	114	121.6
27年2月期第1四半期	7,960	△18.3	93	△66.2	102	△62.8	51	△67.8

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 114百万円 (119.4%) 27年2月期第1四半期 52百万円 (△66.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	15.37	15.34
27年2月期第1四半期	6.95	6.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	13,168	8,580	65.0
27年2月期	12,987	8,993	69.1

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 8,563百万円 27年2月期 8,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	-	0.00	-	71.00	71.00
28年2月期	-	-	-	-	-
28年2月期(予想)	-	0.00	-	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（平成27年6月30日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,874	3.7	336	△16.3	331	△19.5	173	△26.8	23.27
通期	34,818	8.2	772	△16.0	764	△18.0	410	△23.1	54.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期1Q	7,620,000株	27年2月期	7,620,000株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	150,235株	27年2月期	150,235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期1Q	7,469,765株	27年2月期1Q	7,457,196株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信（添付資料）P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成27年6月30日（火）に機関投資家向けに四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成28年2月期第1四半期の個別業績 (平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	6,960	16.4	239	127.0	241	123.5	134	134.0
27年2月期第1四半期	5,980	△25.3	105	△63.6	108	△63.0	57	△67.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	17.97	17.94
27年2月期第1四半期	7.69	7.67

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	11,781	8,712	73.9
27年2月期	11,714	9,105	77.7

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 8,707百万円 27年2月期 9,103百万円

2. 平成28年2月期の個別業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	12,730	2.1	380	△11.2	380	△11.9	226	△12.9	30.27
通期	26,178	6.1	829	△15.5	829	△16.3	492	△15.9	65.89

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策を背景として、緩やかな回復基調にあり、個人消費はしばらく続いていた底堅い動きから、持ち直しの兆しが見られました。一方、当社グループの顧客企業が属するダイレクトマーケティング市場は、通信販売の定着とともに拡大基調が続いております。

このような環境の下、当社グループはダイレクトマーケティング実施企業に対してバリューチェーンの各局面で最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、平成27年4月21日に公表した中期経営計画において、3か年ビジョンとして「ダイレクトマーケティングにおけるTV広告のさらなる革新」、「TVとWEBのシームレス化を見据えた独自のWEB広告の実現」、「海外事業の革新的なビジネスモデルでの展開」を掲げ、中核事業として位置付けた既存事業、WEB事業、海外事業、ダイレクトメール発送代行事業を推し進めるべく、これらの事業の基盤づくりに取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は8,830,640千円（前年同期比10.9%増）、売上総利益は948,382千円（前年同期比33.0%増）となりました。販売費及び一般管理費は727,073千円（前年同期比17.3%増）となり、営業利益は221,308千円（前年同期比137.9%増）、経常利益は221,007千円（前年同期比115.5%増）、四半期純利益は114,777千円（前年同期比121.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

① ダイレクトマーケティング支援事業

ダイレクトマーケティング支援事業については、強みであるテレビを使用した新業種クライアントの開拓及び販売効果の高い自社通販番組の実施を新たな施策としつつ、前事業年度に引き続き、営業力強化、商品力強化、コスト適正化に取り組ましました。営業力強化においては、営業プロセス管理を徹底しました。また、コスト適正化においては、当社が過去に蓄積してきたテレビ枠の基本情報、レスポンス数及び販売数などの実績データを集約管理・分析することにより、メディア枠の仕入量が適正化されるとともに販売価格が安定いたしました。その結果、売上高、売上総利益及び売上総利益率ともに改善いたしました。

WEB事業については、昨年4月より開始した、テレビを見てWEBでの購入に至る貢献度（オフラインアトリビューション）を可視化し、顧客企業のマーケティング予算配分を最適化するサービスを既存顧客に無料提供する試みを始めサービスの拡大を図るとともに、このサービスを利用したWEB広告提案を積極的に実施してまいりました。

海外事業においては、ベトナム、台湾、マレーシア、タイ、シンガポールにて各国の状況に合わせたマルチチャネル型の販売支援強化に取り組んでまいりました。また、タイにおいては昨年12月に発足した現地合弁会社を本格稼働させるとともに、現地大手通販支援企業と業務提携を行うなど、より積極的な進出を図りました。

この結果、売上高は6,960,069千円（前年同期比16.4%増）、営業利益は239,581千円（前年同期比133.5%増）となりました。

② ダイレクトメール発送代行事業

ダイレクトメール発送代行事業については、メールカスタマーセンター株式会社において、「ゆうメール」及び「クロネコDM便」の取扱通数の規模を活かした仕入の下、積極的に営業活動を展開してまいりました。一方、2月より開始した、新規事業である印刷事業が想定通りに進捗しませんでした。この結果、売上高は1,871,313千円（前年同期比5.7%減）、営業損失は18,319千円（前年同期は9,324千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ181,515千円増加し、13,168,618千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が640,854千円増加した一方、現金及び預金が389,362千円、のれんが27,734千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ594,742千円増加し、4,587,932千円となりました。これは主に買掛金が584,761千円、賞与引当金が53,874千円増加した一方、未払法人税等が90,550千円、長期借入金が45,476千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ413,226千円減少し、8,580,686千円となりました。これは主に四半期純利益が114,777千円となった一方、剰余金の配当が530,353千円支払ったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、平成27年4月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,243,628	4,854,266
受取手形及び売掛金	4,240,171	4,881,025
有価証券	2,399,775	2,399,945
商品	605	1,251
仕掛品	2,572	338
貯蔵品	3,680	6,155
その他	183,310	165,329
貸倒引当金	△92,784	△107,394
流動資産合計	11,980,959	12,200,917
固定資産		
有形固定資産	273,146	267,146
無形固定資産		
のれん	295,517	267,783
その他	49,834	47,002
無形固定資産合計	345,351	314,786
投資その他の資産		
その他	435,432	433,186
貸倒引当金	△47,788	△47,418
投資その他の資産合計	387,644	385,768
固定資産合計	1,006,142	967,701
資産合計	12,987,102	13,168,618
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,631,996	3,216,757
短期借入金	411,113	412,733
未払法人税等	183,136	92,586
賞与引当金	1,700	55,574
役員賞与引当金	47,524	12,300
その他	319,332	442,767
流動負債合計	3,594,802	4,232,718
固定負債		
長期借入金	226,432	180,956
退職給付に係る負債	64,821	67,911
資産除去債務	69,814	70,039
その他	37,318	36,306
固定負債合計	398,387	355,213
負債合計	3,993,189	4,587,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,738	644,738
資本剰余金	634,738	634,738
利益剰余金	7,848,010	7,432,434
自己株式	△148,181	△148,181
株主資本合計	8,979,306	8,563,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△144	△35
為替換算調整勘定	—	△31
その他の包括利益累計額合計	△144	△66
新株予約権	2,509	5,040
少数株主持分	12,241	11,982
純資産合計	8,993,913	8,580,686
負債純資産合計	12,987,102	13,168,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	7,960,608	8,830,640
売上原価	7,247,556	7,882,258
売上総利益	713,052	948,382
販売費及び一般管理費	620,012	727,073
営業利益	93,040	221,308
営業外収益		
受取利息	2,029	1,555
保険返戻金	5,466	—
貸倒引当金戻入額	3,235	—
その他	706	446
営業外収益合計	11,438	2,002
営業外費用		
支払利息	1,559	1,794
持分法による投資損失	—	371
その他	343	138
営業外費用合計	1,902	2,303
経常利益	102,575	221,007
特別利益		
固定資産売却益	6,439	—
特別利益合計	6,439	—
特別損失		
固定資産除却損	—	26
特別損失合計	—	26
税金等調整前四半期純利益	109,014	220,980
法人税、住民税及び事業税	63,238	89,509
法人税等調整額	△6,493	16,953
法人税等合計	56,744	106,462
少数株主損益調整前四半期純利益	52,270	114,518
少数株主利益又は少数株主損失(△)	465	△259
四半期純利益	51,805	114,777

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52,270	114,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	109
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△31
その他の包括利益合計	△27	77
四半期包括利益	52,242	114,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,777	114,855
少数株主に係る四半期包括利益	465	△259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトマーケ ティング支援事業	ダイレクトメー ル発送代行事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,981,307	1,979,301	7,960,608	—	7,960,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,924	5,924	△5,924	—
計	5,981,307	1,985,226	7,966,533	△5,924	7,960,608
セグメント利益又は損失(△)	102,612	△9,324	93,287	△247	93,040

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトマーケ ティング支援事業	ダイレクトメー ル発送代行事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,960,069	1,870,571	8,830,640	—	8,830,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	742	742	△742	—
計	6,960,069	1,871,313	8,831,383	△742	8,830,640
セグメント利益又は損失(△)	239,581	△18,319	221,262	45	221,308

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。